

久屋大通庭園の管理運営状況

1 基本情報

<所管局：緑政土木局>

指定管理者名	公益財団法人名古屋みどりの協会		
主な業務内容	久屋大通庭園の管理運営業務		
施設の所在地	名古屋市中区大須4丁目4番1号		
評価対象期間	平成31年4月～令和2年3月	指定管理期間	平成26年4月～令和6年3月

2 評価結果

評価項目		評価区分	特記事項	
管理体制	1 管理体制	適切な職員配置	○	指定管理者、テナントが協力して、施設全体で円滑な運営が行われている。
		緊急時の体制		
人材育成				
維持・管理運営等	1 維持管理	園内清掃	◎	都心の憩いの場、交流・にぎわいの場として、年間計画に沿ってきめ細かな維持管理がなされており、利用者の満足度も高い。 また、芝刈りなど一部業務を職員で実施するなど職員の技術力向上及び経費節減にも努めるとともに、庭園サポート・花の手入れボランティアなど多様なボランティアの活用がなされている。
		樹木・花壇等の管理		
		建物・設備の管理		
		保守・点検・小修繕		
		管理水準の維持		
		関係書類の調製・保管		
		市民との協働による活動		
	2 運営管理	利用者アンケートの実施	○	アンケート内容を見直し、きめ細かく利用者ニーズの把握に努めた。
		利用者ニーズの把握と反映		
		接客・接客向上の取組		
		苦情・要望に対する適切な処理		
		個人情報の適切な管理		
	3 魅力増進・利用促進	まちづくりへの貢献	◎	引き続き、地域と連携したイベントを実施するとともに、新たに愛知県書店商業組合主催のイベントを開催するなど他施設等との連携に努めた。また、積極的にInstagramを活用するなどイベント情報等の積極的なPRに努めた。
周辺地域や他施設との連携				
イベント、広報、PR				
4 施設特有の管理	庭園管理	◎	季節に合わせた花壇や庭園づくりに努め、1年を通して楽しめる工夫を図った。 ガーデンキッチンの特設・内装をリニューアルし、テナント収入の増加が図られた。	
	レストラン等営業施設の運営			
5 自主事業	事業計画に基づく自主事業の実施	○		
	集客対策への効果			
自己評価	1 自己評価	利用者数の増加	○	大型イベントに頼ることなく、年間を通じた集客を目指している。
		法令・協定の遵守		
		事業計画との比較分析		

【総合評価】

立地特性や施設の特徴を生かし、テーマ性のある花壇や各種イベント等を実施したり、周辺施設・他団体・市民と積極的に連携し事業に取り組んだりするなど来園者の満足度を上げる努力をしている点は評価できる。また、アンケート調査による来園者ニーズの把握、分析、対応策の実施や対応案の検討等の姿勢は評価できる。

全体的にはSNSなどによる情報発信の効果により来園者が増加したが、若い世代にも訴求する要素を検討し、引き続き若年層にも積極的にPRしていただくとともに、庭園と、カフェやショップとの相乗効果がさらに発揮されるように、工夫していただきたい。

コロナ対策で行動自粛を求められる中、都心部で交流や花と緑の演出を中心とする当公園でホッと一息つける屋外庭園は大変貴重な施設である。このような特徴ある公園での不測の事態の際のリスクマネジメントについて今後も研究を続けてほしい。

# 施設の現状

## 久屋大通庭園

施設の現状	施設概要							
	<p>久屋大通公園の最南端に位置し、「人々の憩いの場、交流・にぎわいの場」を基本コンセプトに、5つの屋外庭園と建物内のクリスタルガーデンのほか、イタリアンレストランやカフェなどを備えた、市民の皆さまがくつろぎ、楽しむことができる無料施設として再オープンしました。</p> <p>リニューアルにあたっては、民間活力の導入による新たな事業展開を図るため、積極的な民間投資を誘導し、事業者による柔軟な管理運営を可能としました。そのため、指定管理期間については、民間事業者ならではの柔軟かつ新たな視点から見た活用方法・事業内容を実施することが可能で、かつ、事業費の回収に十分な期間として10年としています。</p>							
	市の収支状況(千円) (元年度決算見込み額)							
	支出			収入				利用料金
	指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	
26,231	-	26,231	6,114	-	20,117	26,231	—	
特記事項								
平成26年3月31日をもって、ランの館は閉館し、リニューアル工事ののち平成26年9月27日に無料施設として再オープンしました。								
管理運営指標の状況	取組状況							
	指標	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	入園者数	人	632,356	642,959	550,482	563,039		
特記事項								

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費を記載